

TAKETA History and Culture

大分県 竹田市



竹田市長
竹田 肇

歴史・文化を継承し、発展させていく

『有由有縁』が導く 世界の中の竹田を目指して

ここにご紹介するように、人口が2万人ほどの山間地の竹田市にあって、世界的に著名な建築家たちの作品群が散りばめられていることに驚かれる方も少なくない。何とも信じられないほどの密度で著名な建築家の作品群が楽しめる。建物の素晴らしさとその背景、つまりストーリー性に対する興味が惹きつけるから一層に魅力的に感じるのである。

なぜ、このように世界的に著名な建築家が小さなまちを目指したのか。このまちの何に惹かれて作品を残したいと思ったのか。実は、そこにこそ大切な精神が息づいているのだ。

それが、私の座右の銘でもある『有由有縁』である。つまり、人と人、人とものごとの出会いに偶然であることはない。すべて理由があって導かれた縁なのだとする言葉。久住高原と岡藩城下町を愛し、小説の舞台にしてくれた文豪・川端康成が竹田に遺してくれた言葉でもある。

さて、私は、『歴史文化は立ち止まってしまうとただの過去になってしまう。今に働きかけてこそ歴史を学ぶ価値がある』という言葉も大切にしている。竹田というまちは、あの荒城の月を作曲した瀧廉太郎が過ごしたまちである。さらに、南画の大家である田能村竹田を生み出したまちでもある。この歴史ある竹田のまちを歩いていると、理想を掲げること、志高く生きることを意識させられるとある哲学者は語った。空間に刻まれた履歴が地域遺伝子を目覚めさせるのかも知れない。

そんなまちであるからこそ。私たちは、人口が多少減っても世界の中でなくてはならないまちづくりを進めようとしているのである。

旗印は、『世界の中の竹田』である……。



竹田市立図書館
(設計は、堀塚隆生氏によるもの)



「久住高原の唄」の歌碑
(設計は、磯崎新氏によるもの)

大分県の南西部に位置する竹田市。北のくじゅう連山と西の阿蘇山、南の祖母山系などの山々に囲まれ、豊富な湧水や温泉、また城下町としての史跡や景観も有名である。

その昔、戦国時代に志賀氏が岡城に入城後、豊臣秀吉の天下統一の頃中川氏が移封し、竹田村に城下町を造成した。奥豊後の政治・経済・文化の中心地として栄え、西南の役によりその多くを消失したものの、国指定史跡の岡城跡や旧竹田荘をはじめとする歴史的な建造物、武家屋敷通りなど、現在でも市内には、江戸時代から変わらない景観や当時の古い面影を多く残している。

また、「荒城の月」で知られる瀧廉太郎の記念館や文化財、絶え間なくこんこんと湧き出る竹田湧水群や白水の滝などの名水、さらには日本一の炭酸泉といわれる長湯温泉、開放感あふれる雄大な久住高原など、多くの観光スポットが訪れた人々を魅了する。近年では**名のある建築家による設計**に基づき、竹田市の歴史・文化を継承しながらも、近代建築の結晶とも思える建築物を目当てに多くの人が訪れている。

竹田市歴史文化館・由学館(ゆうがくかん)

2020年10月24日(土)にオープンした、世界的建築家・隈研吾氏による設計の歴史文化館。岡城跡と城下町をつなぐ玄関口として、歴史文化に出会い、知り、学ぶための施設であるとともに、新しい文化を発信する拠点としての機能も担っている。

- 住所/大分県竹田市竹田2083
- 電話/0974-63-2200
- 営業/9:00~17:00(最終入場は16:30まで)
- 定休日/木曜日、年末年始
- 企画展観覧料/高校生以上500円、小・中学生300円、65歳以上250円

※各種障害者手帳をお持ちの方無料
※岡城ガイドランスと市民ギャラリーは無料見学可
※団体料金有り



竹田市総合文化ホール・グランツたけた

「感動」と「活力」を生む「学び」と「創造」の交流拠点。広く市民の文化創造活動と生涯学習活動を支え、「感動」と「活力」の源となり、何よりも市民自らが主体となって気軽に利用でき、親しみを持ち、笑顔になれる場所として建設された。設計は、香山壽夫設計事務所によるもの。

- 住所/大分県竹田市大字玉来1-1
- 電話/0974-63-4837
- 営業/9:00~22:00
- 定休日/月曜日、年末年始(月曜日が祝日の場合は翌平日休館)

※詳しい利用料についてはお問い合わせください



竹田市城下町交流プラザ

小規模な集会から大人数の会議、展示会まで幅広く対応できる貸館スペース。市民から観光客まで、まち歩きの間際にほっと一息立ち止まれるような、あたたかく、ひらかれた「みんなの庭」として機能している。建築は世界的な建築家である隈研吾氏によるもの。

- 住所/大分県竹田市大字竹田487-1
- 電話/0974-63-0808
- 営業/9:00~22:00(最終受付19:00)
- 定休日/年中無休(年末年始を除く)
- 駐車場/21台

※詳しい利用料についてはお問い合わせください



クアパーク長湯

クアパーク長湯は1Fが水着で入るバーデゾーン、温泉プールと50mの歩行浴、2Fに男女別浴室がある温泉棟、レストラン棟、コテージタイプの宿泊棟からなる複合施設。世界的建築家の坂茂氏による木をふんだんに使った設計で、自然と一体になった建築が、自然の恵みを満喫できる。

- 住所/大分県竹田市直入町長湯3041-1
- 電話/0974-64-1444
- 営業/クアハウス 10:00~20:30(最終受付20:00)
- レストラン 18:00~21:00(LO20:30)
- ※夜の営業のみ要予約
- 定休日/第1・3水・木曜日
- 入館料/大人500円、小学生200円
- ※小学生未満使用不可



ラムネ温泉館

焼き杉と漆喰、屋根には銅版が張られ、頂上には日本の祝いの象徴である骨太の松の木がそびえる。古来松は、長寿のシンボルとされてきた。そのようなことからラムネ温泉館の屋根には、長く栄えるようにと祈りを込めて塔のつべんに植えてある。建築は藤森照信氏によるもの。

- 住所/大分県竹田市直入町長湯7676-2
- 電話/0974-75-2620
- 営業/10:00~22:00
- 定休日/第1水曜日(1月と5月は第2水曜日)
- 入浴料/大人500円、小人(3歳~小学生)200円、3歳未満無料



御前湯

御前湯では玄関にある飲泉場のほか、館内すべての湯口から出る温泉を飲むことができる。温泉には何も加えず、源泉をそのまま利用しているという紛れもない証である。飲泉は浴用と同じように重要なものと考えられており、大地の恵み、ミネラルをそのまま飲みいただきたい。設計は象設計集団によるもの。

- 住所/大分県竹田市直入町長湯7962-1
- 電話/0974-64-1400
- 営業/6:00~21:00(最終受付20:00)
- 定休日/第3水曜日
- 入浴料/大人500円、小人(小学生)200円、6歳未満無料

